

居合道 だより

第 182 号





はじめに

今年も田んぼの稲に穂が付き首がたれはじめ、秋の足音が聞こえる季節になりました。

しかし、8月のお盆前後の期間、秋雨前線の影響もあり各地で大雨警報が発出され、「エリアメール」が鳴りっぱなし、大雨の峠が越えたかと思えば5回目となる緊急事態宣言が発出され、稽古がまた出来ないなど悲観的になっているところへ、追い打ちを掛けるかのごとく、

「高齢者のワクチン効果持続期間が短い」

などとの報道が耳に入り穏やかな日常生活が遠のいた感が……。

そんな中、先のオリンピックで活躍されたアスリートの皆さんが「過酷なまでの練習」の事より、今まで一緒に尽力して頂いた方々、オリンピック運営に携わってくれた全ての方々に対する感謝の言葉を聞いて、ネガティブな事を思う前に、今の自分に「何が必要で、何をすべきか」を考える時間が与えられているのだと思い、努力を重ね、近い将来「マスク無し」で楽しく居合が出来る日を待つことにしたいと思う今日この頃です。

先の見えない状況が続いていますが、「明けない夜はない」と信じて、この難局を乗り越えて行きましょう。

また、つきなみではございますが、秋の審査会に向け努力して来られた皆様、ぜひ頑張ってください。

田川居合道 教士七段 中島 浩

主な活動

8月1日：福岡県居合道下段者（四段以下）講習会



九月・十月の予定

9月19日	福岡県居合道高段者（五段以上）講習会及び称号講習会	
9月26日	福岡県居合道段位審査会	福剣連 福岡武道館
10月9日	第56回全日本居合道大会	全剣連 東京都

ちょっとお話聞いてみました！



北九州居合道同好会

左から

四段 松岡さん

初段 森さん

初段 内田さん

北九州居合道同好会の若手女子3名にお話を伺いました。

松岡さんは兵庫から引っ越して来られて北九州にお住まいです。

元々は直伝英信流を習っていたそうですが、こちらに来られて現在は夢想神伝流を稽古されておられるようです。「納刀が違うのでなかなか苦勞してます」と笑顔で答えてくれました。今年の3月に受審し、現在四段です。

また、松岡さんは北九州居合道同好会のHPを作成された方です。（拍手）

森さんと内田さんは去年の3月の入会で現在初段。所属は北九州居合道同好会ですが、稽古は現在筑紫野で場所を借りて稽古しているようです。

3人とも刀は2尺3寸です。森さん内田さん兩名、かなり気合の入った稽古をされておられたのですが、お伺いすると森さんが「そうですか？気合は私の売りです！」と気持ちよく答えてくれました。

北九州は4箇所稽古していますが、お二人は筑紫野で場所をお借りして稽古しておられます。指導はもちろん小田先生が担当されておられるとのこと。

日本が好きで日本文化に興味があって入ってきたというこの2人武士道精神を磨いているそうです。

来年の3月には二段を受審しますとのこと。

将来の夢は？「心のマスターになりたい」とのことでした。

笑顔の素敵な、将来が楽しみな3人でした。

期待しております。

© 公益社団法人 福岡県剣道連盟・福岡県剣道連盟 居合道部

第182号 令和3年9月発行

発行：福岡県剣道連盟居合道部

URL：<http://riai.info/>

発行人：井手友太

〒819-1132 糸島市有田36番地-1

TEL:092-322-0847

編集：有限会社FEW